

授業・講座展開例 ネットトラブル(課金)

■ テーマ

鍛えよう、消費者力
～ネットトラブル(課金)を事例として～

■ 本時の目的

- 事例を通じて、消費者トラブルの注意点を理解する。
- 自分がトラブルに遭わないための注意点や、周囲が巻き込まれそうになった際の対応を身に付ける。

■ 展開例

時間	主な活動	指導上の留意点	使用する教材・資料
導入 (10分)	1. 消費者トラブルと契約について <ul style="list-style-type: none"> ● 消費生活トラブルの現状、消費者トラブルの原因と社会の変化について知る。 ● 若年者の消費者トラブルの特徴を資料から読み取り、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会の変化(デジタル化の進展等)に気づかせ、自身のネットショッピング等の利用経験との関わりを意識させる。 ● 資料を読み取る力を身に付けられるように取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費者トラブル概況」投影用スライド P.10,12 ● ワークシート
展開① (10分)	2. 診断セルフチェックに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ● セルフチェックを行った結果に基づき、「消費者力」に関する自己診断を行う。 ● ワークシートで自己分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分は大丈夫と思っている意識と診断結果の差を踏まえ、誰もがトラブルに遭う可能性があることに気づかせる。 ● 「消費者力」を身に付けることで、自身の被害の防止とともに、周囲や社会のトラブル・被害を減少させることにつながることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 診断セルフチェック ● ワークシート
展開② (20分)	3. 課金トラブルについて <ul style="list-style-type: none"> ● トラブル事例マンガを読み、「振り返り問題」に取り組み、ワークシートに記入する。 ● 課金トラブルについての解説や「診断セルフチェック」を踏まえ、自分のゲームの利用時間やゲームで課金する際のルール等についてまとめ、発表する。 ● 「復習・実践」問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事例を通じて自分自身にはどのようなトラブルが想定されるか考えさせる。 ● 展開①のセルフチェックの結果も踏まえてまとめさせる。 ● 本事例を一例として、ほかの消費者トラブルに対して「自分を守る」視点から、どのようなことに気をつける必要があるかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「課金」投影用スライド P.1-12 ● ワークシート ● 「課金」投影用スライド P.13-26 ● 「課金」投影用スライド P.35-41
まとめ (10分)	4. 学習のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ● トラブルに遭いそうになったときの対応について確認し、ワークシートに記入する。 ● 家族・知人の様子がおかしかったとき、トラブルに遭いそうなとき、自分が周囲に対して行えることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費者トラブルに遭いそうになったら」を確認することで、展開②の内容を復習するとともに、深めさせる。 ● 「自分を守る」ことに加え、周囲への働きかけとして何ができるかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「相談先・周囲への働きかけ」投影用スライド P.1-3 ● ワークシート ● 「相談先・周囲への働きかけ」投影用スライド P.4-14